

2013年6月30日締め2013年第2四半期の業績を発表

(このプレスリリースは、2013年7月25日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社: マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は、本日(2013年7月25日)、2013年6月30日締めの第2四半期の業績について、売上高が18億900万ドル、修正後1株当たり利益(EPS)が0.18ドルになったことを発表しました。GAAPベースでは、1株当たり0.10ドルの利益となりました。

2013年第2四半期の業績および直近の主要項目:

- 売上高は18億900万ドルとなり、指針のレンジの上限を上回った。リポーターベースでは前年比1%の減少、調整後成長率は2%となった(売却事業および為替の変動による影響を除く)。
- 修正後EPSは0.18ドルとなり、会社の修正後EPS指針の0.14ドルから0.17ドルまでのレンジを上回った。
- グローバルベースの収益は、為替変動の影響を除くと、Precision Spectra™脊髄電気刺激装置(SCS)の販売開始によりニューロモジュレーションで前年比21%増。エンドスコープで同8%、ペリフェラル・インターベンションで同5%の増加となった。
- ブラジル、ロシア、インド、中国の4か国を合計した成長率は、為替変動の影響を除いて前年比で29%増加し、引き続きグローバル展開が進んだ。
- Vessix™ 腎デナベーションシステム、WATCHMAN®左心耳(LAA)閉鎖術用デバイス、Lotus™ 大動脈弁システムおよびVercise™ 脳深部刺激装置に関するポジティブな臨床データを報告。ボストン・サイエンティフィック社は、これらのテクノロジーが成長の推進力となると考えている。
- 米C.R.バード社のエレクトロフィジオロジー(EP)事業部門を2億7,500万ドルのキャッシュで買収する正式契約を締結した。
- オペレーティング キャッシュフローは3億9,600万ドルを計上し、うち1億ドルを使って既に承認済みの自社株買い戻しプログラムに基づいて約1,250万株を買戻した。

「この四半期の業績が向上したことは喜ばしいことです」とボストン・サイエンティフィック社の社長兼 CEO であるマイク・マホーニーは述べています。また「当社は引き続き製品ラインナップの拡充を図っており、意義のあるイノベーションを提供して世界中のさらに多くの患者さんに貢献することを考えています」とも述べています。

Worldwide sales for the second quarter:

<i>in millions</i>	Three Months Ended June 30,		% Change				
	2013	2012	As Reported Basis	Less: Impact of Foreign Currency		Constant Currency Basis	
Interventional Cardiology	\$ 520	\$ 549	(5)%	\$ (15)	(2)%	(3)%	
Peripheral Interventions	199	196	2%	(6)	(3)%	5%	
Cardiovascular	719	745	(4)%	(21)	(3)%	(1)%	
Cardiac Rhythm Management	475	488	(3)%	(4)	(1)%	(2)%	
Electrophysiology	36	37	(3)%	(1)	(1)%	(2)%	
Rhythm Management	511	525	(3)%	(5)	(1)%	(2)%	
Endoscopy	325	311	5%	(11)	(3)%	8%	
Urology/Women's Health	124	126	(1)%	(3)	(2)%	1%	
Neuromodulation	111	91	21%	1	0%	21%	
MedSurg	560	528	6%	(13)	(3)%	9%	
Subtotal Core Businesses	1,790	1,798	0%	(39)	(2)%	2%	
Divested Businesses	19	30	(36)%	1	2%	(38)%	
Worldwide Net Sales	\$ 1,809	\$ 1,828	(1)%	\$ (38)	(2)%	1%	

Growth rates are based on actual, non-rounded amounts and may not recalculate precisely.

Sales growth rates that exclude the impact of changes in foreign currency exchange rates are not prepared in accordance with U.S. GAAP. An explanation of the company's use of these non-GAAP financial measures is included in the exhibits attached to this news release.

連結 GAAP ベースで 2013 年第 2 四半期の純利益は 1 億 3,000 万ドル(1 株あたり 0.10 ドル)となりました。この業績には、無形資産の減損費用、買収・売却関連の正味費用、組織再編関連の費用および償却費用の 1 億 1,700 万ドル(税引き後、1 株当たり 0.08 ドル)を含みます。これらの費用を含まない 2013 年第 2 四半期の修正後純利益は 2 億 4,700 万ドル(1 株あたり 0.18 ドル)でした。

連結 GAAP ベースで 2012 年第 2 四半期の純損失は 35 億 7,800 万ドル(1 株あたり 2.51 ドル)でした。この業績には、営業権その他の無形資産の減損費用、買収関連の正味費用、売却・組織再編・訴訟関連費用、および償却費用の 38 億 1,700 万ドル(1 株当たり 2.68 ドル)を含みます。これらの費用を含まない 2012 年第 2 四半期の修正後純利益は 2 億 3,900 万ドル(1 株あたり 0.17 ドル)でした。

2013 年第 3 四半期および通年の予測

ボストン・サイエンティフィック社は、2013 年第 3 四半期の売上高を 17 億ドルから 17 億 6,000 万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAP ベースの 1 株当たり利益は、0.03 ドルから 0.05 ドルの範囲内におさまると見込んでいます。買収・組織再編関連の費用、売却関連の正味費用および償却費用を含めない修正後利益は、1 株当たり 0.14 ドルから 0.16 ドルの範囲内におさまると予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2013 年の通年の売上高を 70 億 5,000 万ドルから 71 億 7,000 万ドルの範囲内だと予想しています。また、GAAP ベースの 1 株当たり損失は、0.07 ドルから 0.01 ドルの間になる見込みです。営業権および無形資産の減損

費用、買収・組織再編・訴訟関連の費用、売却関連の正味費用および償却費用を含めない修正後利益は、1株あたり0.67ドルから0.71ドルの範囲内になると予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(7/25)午前8時00分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子をウェブサイトのIRのセクション www.bostonscientific.com で配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議の様子は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約1年間配信する予定です。

ボストン・サイエンティフィック社について

ボストン・サイエンティフィックは、世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより多く豊かにすることに全力で取り組んでいます。過去30年以上にわたり世界の医療テクノロジーをリードし続けるグローバル企業として、「we advance science for life」の言葉を胸に、画期的な治療法を通じて様々な疾患に苦しむ患者さんや、医療体制の生産性向上にも貢献しています。詳細はホームページをご覧ください。

www.bostonscientific.com

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第27A条および証券取引法(1934年制定)第21E条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、2013年度第3四半期および通年の修正後利益・GAAPベースの業績・修正業績についての予測、財務成績、事業計画、成長イニシアチブとその影響、当社の収益およびEPS成長率の位置づけ、製品パイプラインとその重要性などに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意して下さい。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市況、組織再編プログラムの実施とその効果、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の10-K年次報告書パートI 1A項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の10-Q四半期報告書パートII 1A項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するよ

うに将来予測に関する記述の内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP (一般会計原則) の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに添付の別紙をご覧ください。

連絡先:

デニス・カイグラー

508-650-8330 (社内)

media@bsci.com

コーポレートコミュニケーションズ

ピーター・ルフト

508-650-8796 (社内)

media@bsci.com

グローバルメディア向け情報担当

マイケル・キャンベル

508-650-8023 (社内)

investor_relations@bsci.com

投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィックについて>

ボストン・サイエンティフィックは、世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより多く豊かにすることに全力で取り組んでいます。過去 30 年以上にわたり世界の医療テクノロジーをリードし続けるグローバル企業として、「we advance science for life」の言葉を胸に、画期的な治療法を通じて様々な疾患に苦しむ患者さんや、医療体制の生産性向上にも貢献しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレート・コミュニケーションズ)

TEL : 03-3343-9411, FAX : 03-3343-0264

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsikk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社